

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第2部門第7区分  
 【発行日】平成19年12月6日(2007.12.6)

【公開番号】特開2006-124104(P2006-124104A)  
 【公開日】平成18年5月18日(2006.5.18)  
 【年通号数】公開・登録公報2006-019  
 【出願番号】特願2004-315229(P2004-315229)  
 【国際特許分類】

**B 6 5 H 29/24 (2006.01)**

【F I】

B 6 5 H 29/24 A

【手続補正書】

【提出日】平成19年10月18日(2007.10.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

シートを積載する積載手段に向けてシートを排出する排出口ーラ対と、  
 前記排出口ーラ対から排出されるシートに対して送風手段からのエアーを排出するエアー排出口と、を有し、

前記エアー排出口を前記排出口ーラ対の下方に配置し、前記エアー排出口から排出されるエアーによって前記排出口ーラ対から排出されるシートを上方に持ち上げつつ、前記エアー及び前記排出口ーラ対によってシートを積載手段に排出することを特徴とするシート排出装置。

【請求項2】

前記エアー排出口からのエアーの排出方向は、前記排出口ーラ対のニップ接線とのなす角度が $0^{\circ} \sim 60^{\circ}$ の範囲に設定されていることを特徴とする請求項1に記載のシート排出装置。

【請求項3】

前記エアー排出口から排出されるエアーの風量を、シートの種類に応じて制御することを特徴とする請求項1または請求項2に記載のシート排出装置。

【請求項4】

前記エアー排出口から排出されるエアーの風量を、排出されるシートがコシの弱いシートである場合の方がコシの強いシートである場合よりも大きくなるように制御することを特徴とする請求項3に記載のシート排出装置。

【請求項5】

前記シートがコシの弱いシートである場合、前記コシの弱いシートを排出する時の前記エアー排出口から排出されるエアーの風量を $0.6 \text{ m}^3 / \text{min} \sim 0.9 \text{ m}^3 / \text{min}$ とすることを特徴とする請求項4に記載のシート排出装置。

【請求項6】

前記コシの弱いシートの後端が前記排出口ーラ対を通過する直前に前記大きくしたエアーの風量をコシの強いシートの時の風量に戻すことを特徴とする請求項4または請求項5に記載のシート排出装置。

【請求項7】

前記シートがOHTシートである場合、前記OHTシートを排出する時の前記エアー排

出口から排出されるエア-の風量を  $0.7 \text{ m}^3 / \text{min} \sim 1.2 \text{ m}^3 / \text{min}$  とすることを特徴とする請求項 3 に記載のシート排出装置。

【請求項 8】

前記排出口ローラ対はシートの搬送方向と直交する幅方向全域にわたって互いに接するローラ対であることを特徴とする請求項 1 乃至請求項 6 のいずれか 1 項に記載のシート排出装置。

【請求項 9】

シートに画像を形成する画像形成手段と、画像が形成されたシートを排出する排出手段と、を有する画像形成装置において、前記排出手段として、請求項 1 乃至請求項 7 のいずれか 1 項に記載のシート排出装置を備えていることを特徴とする画像形成装置。